

令和5度「文化芸術による子供育成推進事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	伝統芸能	種目	演芸
----	------	----	----

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の状況(該当するものを選択してください。) ※B区分継続団体については、申請企画数から除く

複数申請の有無	有	申請総企画数	2企画
---------	---	--------	-----

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	公演の実施時期が重複しても、複数の企画を実施可能
--------------------	--------------------------

芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	ゆうげんがいしゃ さんえいきかく		団体ウェブサイトURL
	有限会社 三栄企画		https://www.saneikikaku.co.jp
代表者職・氏名	代表取締役 長澤 利文		
制作団体所在地	〒 556-0015	最寄り駅(バス停)	大阪メロ「大国町駅」
	大阪府大阪市浪速区敷津西2-1-11-803		
電話番号	06-6631-0659		
ふりがな 公演団体名	伝統の話芸～落語・講談・浪曲の世界～		団体ウェブサイトURL
代表者職・氏名	制作団体に同じ		
公演団体所在地	〒	最寄り駅(バス停)	
	制作団体に同じ		
制作団体 設立年月	1977年 3月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	長澤 利文	制作・舞台スタッフ:9名	
事務体制 (専任担当の有無)	専任の事務担当者を置く	本事業担当者名	堀之内 さおり
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	小西 利子

<p>制作団体沿革</p>	<p>1977年3月、設立。同年開催された朝日新聞大阪厚生文化事業団の「朝日電動車いすを贈る運動」キャンペーンに、故・六代目笑福亭松鶴を中心とした「チャリティー上方落語会」で参加。近畿地方を中心に18府県の中学校と高等学校で公演。これを機に全国の中学校と高等学校へ、上方落語鑑賞会の巡回公演を、故・六代目笑福亭松鶴と共に開始。その後は講談、浪曲、能楽、人形浄瑠璃、日本舞踊、和太鼓などの伝統芸能を中心に、演劇、人形劇、オーケストラ、JAZZなど、公演内容を拡大。2007年には小学生を対象とした「上方落語鑑賞会」を制作し公演対象をも拡大。現在は小学校・中学校・高等学校で開催される芸術鑑賞会を総合的にプロデュースしている。 また2017年度の大阪市市民表彰において、芸術・芸能・科学又は学術に関して尽力した者を対象とする「文化功労」を、弊社の創設者である鳥江三也が受賞。</p>		
<p>学校等における公演実績</p>	<p>下記は演芸公演の実績のみです。 2021年度：10校（コロナ禍の為） 2020年度：22校 2019年度：63校 2018年度：61校 2017年度：77校</p>		
<p>特別支援学校等における公演実績</p>	<p>下記は全て演芸公演です。 2021年度：無し 2020年度：無し 2019年度：赤江まつばら支援学校 2017年度：八尾支援学校、藤井寺支援学校。 2015年度：大阪市立聴覚支援学校。 2013年度：茨木支援学校、播磨特別支援学校。 2012年度：西淀川特別支援学校、富田林支援学校。</p>		
<p>参考資料の有無</p>	<p>申請する演目のWEB公開資料</p>	<p>無</p>	
	<p>※公開資料有の場合URL</p>		
	<p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>ID:</p>	
		<p>PW:</p>	

公演・ワークショップの内容

【公演団体名 伝統の話芸～落語・講談・浪曲の世界～】

対象	小学生(低学年)	○	/	
	小学生(中学年)	○		
	小学生(高学年)	○		
	中学生	○		
企画名	伝統の話芸～落語・講談・浪曲の世界～			
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	落語／「動物園」または「代書」 講談／「一休禪師・茶碗の諫言」または「甚五郎の蟹」 浪曲／「円山応挙の幽霊図」または「徂徠豆腐」  公演時間 90 分			
著作権、上演権利等の 許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続きの要否	該当なし	該当コンテンツ名	
	該当事項がある場合	権利者名	許諾確認状況	
演目概要	落語「動物園」 ある男が移動動物園のトラに成り済ます仕事を引き受ける。仕事の内容はトラの毛皮を着て檻の中をウロウロするだけ。楽な仕事だと来園する人々を喜楽に眺めていると…。 ※落語「代書」、講談「一休禪師・茶碗の諫言」、浪曲「円山応挙の幽霊図」「徂徠豆腐」＝別添			
演目選択理由	落語「動物園」と「代書」は、どちらの演目も主人公が庶民を代表するようなキャラクターで、児童・生徒達にとって親しみやすい人物です。そんな主人公が繰り広げる落語の世界は、落語特有の誇張と逆説がバランス良く配合されている良作のうねオチも分かりやすく、鑑賞した全員が「落語を聴いた」と実感出来ることからの選択です。 講談「一休禪師・茶碗の諫言」では本当に大切な物は何なのか、そして「甚五郎の蟹」では人の情けは、まわりまわって自分に戻ることから、物事の表面的なことではなく、その本質について考えを巡らせることへの気付きの機会となる要素が多く含まれ、読み聞かせる講談という芸能の特徴が存分に発揮されることからの選択です。 ※浪曲の演目選択理由＝別添			
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<本公演での舞台発表体験人数:6名> 舞台上での発表体験は、落語・講談・浪曲のそれぞれから2名ずつ。合計6名を基本としています。この6名以外の児童・生徒達は、自席から掛け声と拍手(ワークショップで指導済み)で参加していただきます。 ※小学生は各学年から1名ずつの選出を基本としますが、6年生から6名選出されるなど、開催校様に合わせて対応致します。 ※中学生は各学年から2名ずつを基本としますが、3年生から6名選出されるなど、選出方法は開催校様に合わせて対応致します。 ※舞台発表の体験内容＝別添			
出演者	落語家:桂 雀 太. 講談師:旭 堂 南 龍. 浪曲師:真 山 隼 人. 曲 師:沢 村 さくら.  落語家・桂雀太は平成28年度NHK新人落語大賞の『大賞』受賞を皮切りに、平成29年『咲くやこの花賞』、平成30年「花形演芸大賞」銀賞、令和元年「第5回上方落語若手噺家グランプリ2019」優勝、同年「第74回文化庁芸術祭賞」新人賞を受賞と、スケールの大きな語り口で繰り出す爆笑落語にますます磨きがかかっています。また出身地である五條市からは“五條市観光大使”に任命されています。  ※講談師・旭堂南龍と浪曲師・真山隼人の紹介＝別添			
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者: 4 名 スタッフ: 5 名 合 計: 9 名	運搬	積載量: 1 t 車 長: 5.38 m 台 数: 1 台	

本公演 会場設営の所要時間 (タイムスケジュール) の目安	前日仕込み	無	前日仕込み所要時間		3	時間程度	
	到着	仕込み		上演	内休憩	撤去	退出
	9時45分	10時00分～13時00分		13時30分～ 15時00分	0分	15時15分～ 16時30分	16時45分

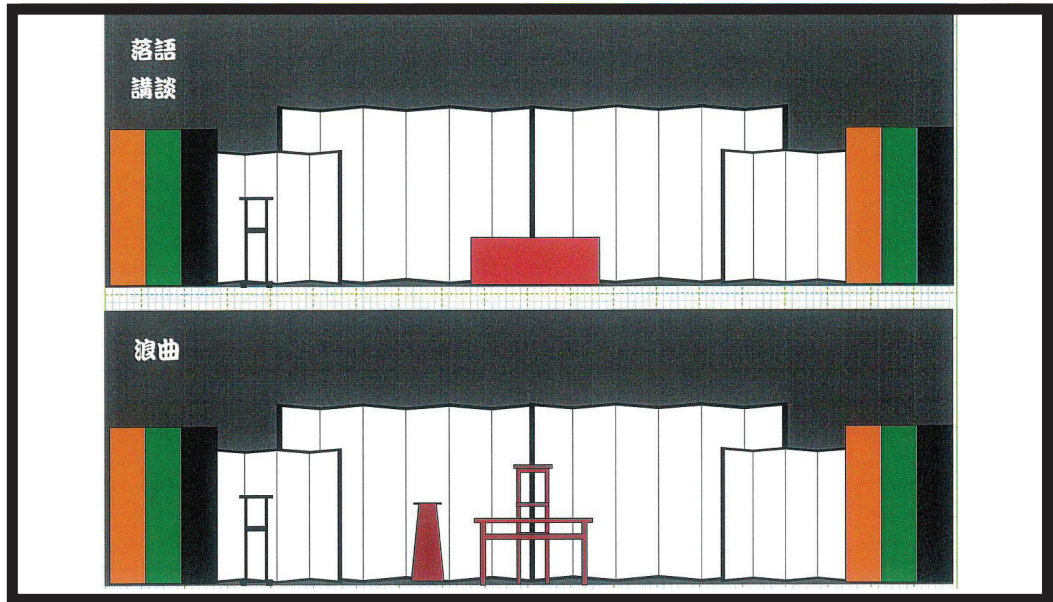
※本公演時間の目安は、午後、概ね2時限分程度です。

本公演 実施可能日数目安  ※実施可能時期については、採択決定後に確認します。(大幅な変更は認められません)	6月	7月	8月	9月	10月	
	0日	0日	0日	0日	21日	
	11月	12月	1月	計	74日	
	20日	16日	17日			

※平日の実施可能日数目安をご記載ください。

児童・生徒の 参加可能人数	本公演	共演人数目安	6名
		鑑賞人数目安	500名

公演に係るビジュアルイメージ  
(舞台の規模や演出や  
がわかる写真)



注) 浪曲台は資料のため骨組みです。  
実際の公演では掛け物で覆います。

※採択決定後、採  
択団体へ図面等詳  
細の提出をお願い  
します。

## 【公演団体名 伝統の話芸～落語・講談・浪曲の世界～】

児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	全校生徒 (但し実施会場の収容人数の範囲内となります)
ワークショップ実施形態及び内容	<p>①実施形態 全80分間公演(途中休憩無し) *お手洗いなどへの個別対応は常時可能です。</p> <p>②内容 児童・生徒を3班に分け、桂雀太・旭堂南龍・真山隼人それぞれが自身の芸能をレクチャーします。 1回のレクチャー時間は20分間です。 レクチャー終了後、出演者が次の班へ移動。各班に3人の出演者が順番に移動する形です。</p> <p>*落語・講談・浪曲のレクチャー内容 落語:舞台道具の紹介. 落語の歴史・技法の説明. 小噺の披露. 講談:舞台道具の紹介. 講談の歴史・技法の説明. 一息語りの披露. 浪曲:舞台道具の紹介. 浪曲の歴史・技法の説明. 節作りの披露.</p>		
ワークショップのねらい	<p>学校公演の度に、児童・生徒達に落語と講談と浪曲をどの程度知っているか質問すると、講談と浪曲を知らない人がほとんどで、落語だけが何となく知っているという結果になります。しかもこの結果は児童・生徒達だけではなく、一般成人を対象にしても同様の傾向にあります。この調査から、児童・生徒達は今回の機会ですべて初めて落語と講談と浪曲に接するという前提で、実施形態について検討しました。</p> <p>児童・生徒達の年齢の頃は、純粋な心で鑑賞することが出来る感性を持っています。児童・生徒達が「落語と講談と浪曲について何も知らないけど、私はこう思う」と、年齢特有の感性を生かして考える機会を提供するために、ワークショップでの各芸能解説はクイズ形式を取り入れました。そして児童・生徒達の考え(回答)を受けて、さらに次の解説ポイントへ導きます。演者の講義をただ聞くのとは異なり、演者と共に考える児童・生徒参加型のワークショップは、楽しみながら自然な流れの中で、落語と講談と浪曲について正しい理解を深めます。</p> <p>自分自身で考えて理解を深めた対象については、自ずから関心が高まります。この児童・生徒参加形式のワークショップは、落語と講談と浪曲に対する子供達の好奇心を大いに刺激します。</p>		
その他ワークショップに関する特記事項等	<p>ワークショップ3班編成の一例</p> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-right: 10px;">ス テ ー ジ</div> <div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">A 班</div> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">B 班</div> <div style="border: 1px solid green; padding: 5px;">C 班</div> </div> <div style="margin-left: 20px;">●は出演者。</div> </div> <p>班は相談のうえ事前に班分けを行います。</p> <p>班の配置は一例です。</p>		

リンク先	
項目内容	<p>No. 2【共通】演目概要            落語「代書」            就職をするので履歴書を書いてもらおうと代書屋に行った男と、その代書屋と間で繰り広げられる頓珍漢なやり取りは捧腹絶倒、さて最後に代書屋が取った行動とは…。            講談「一休禅師・茶碗の諫言」            頓智頓才の名人「一休」の噂を耳にした將軍が、一休を試そうとするが見事に切り返す。感服した將軍は秘蔵の茶碗で茶会を催すが、小坊主がその茶碗を割ってしまいます…。            講談「甚五郎の蟹」            子供が餅を盗もうとし、それを主人が捕まえて大騒動。止めに入った甚五郎が訳を聞いて不憫に思い、子供に餅を食べさせる。代金の代わりにと小さな蟹を彫って置いて行くが…。            浪曲「円山応挙の幽霊図」            応挙が関白公より幽霊の絵を頼まれた。仕上げれば日本一の画家となるが、まだ幽霊画を描いたことがない。応挙は苦心の末に立派な絵をしたためる。その絵が結ぶ親子の物語。            「徂徠豆腐」            豆腐屋の七兵衛はある日、浪人から豆腐を頼まれる。五日間ツケで豆腐を食べ続けた浪人に、その事情を聞くと感動してしまう。豆腐屋と浪人、互いに互いが助け合う友情の物語。</p> <p>No. 2【共通】演目選択理由            浪曲「円山応挙の幽霊図」では、今は何でもないと思える出来事が、将来に意味を持って繋がるという人生の奇跡を、そして「徂徠豆腐」では、逆境にあっても人生を歩む心構えをしっかりと定め、決してそれを違えないということの尊さを伝えます。三味線の伴奏にのせて、歌い語る浪曲において、児童・生徒の皆様の心にとしっかりと印象を残す演目です。            人と人との関わり方が希薄になっているといわれる昨今、時代背景は変わっても、人間の本質はいつの時代でも変わらないものです。芸能は人の情や先人の知恵などを、後の世に伝える手段という一面もあります。特に落語・講談・浪曲はルーツが法話であるという特性を活かし、人が社会生活を営むうえでの大切な教訓を、楽しい時間の中で児童・生徒達の心に届けることが出来る演目を厳選しています。</p> <p>No. 2【共通】児童・生徒の共演、参加又は体験の形態 舞台発表の体験内容            ・落語：小唄の披露。            ・講談：一息語りへの挑戦。            ・浪曲：給食の献立で節作り。            ＊小唄と一息語りの原稿は弊社で用意致します。給食の献立は相談させていただきます。            ＊舞台発表の順番は、①浪曲→②講談→③落語を基本とします。            ＊舞台発表中、落語家・講談師・浪曲師は、該当する児童・生徒達の近くで付き添います。            ＊舞台発表体験コーナーの進行は、落語家・講談師・浪曲師の3名で行います。            ＊体験される児童・生徒の皆様に、出演者が直接指導(約15分間)する機会を設けています。</p> <p>No. 2【共通】出演者            講談師・旭堂南龍は平成30年6月に“奈良市観光大使”に任命され、同年11月には真打昇進を果たすと同時に、講談界の大名跡である『南龍』を襲名した実力派です。令和元年「咲くやこの花賞」を受賞。また日本初となる講談師アドバイザースタッフとして東大阪市立繩手南中学校の学校教育に参加し、日本で唯一公立中学校で授業を受け持つ稀有な存在です。            浪曲師・真山隼人は平成30年「第73回文化庁芸術祭新人賞」、令和4年「咲くやこの花賞」を受賞。コロナ禍においては「お手製浪曲CD」を発売して注目を集めています。優れた才能と困難にも卓越したアイデアで立ち向かう気概を併せ持ち、さらには鈴鹿市の観光大使を務める活躍ぶりは、浪曲界の次代を担う逸材として期待されています。            ＊出演者は、弊社の公演実績に基づいて選出しています。            ＊桂雀太・旭堂南龍・真山隼人のプロフィールは、別データ(PDF)②_出演(メインプログラム参加者)予定のメンバー表等をご参照ください。</p>



# 桂

(かつら)

# 雀

じゃく

# 太

た)

本名 / 岡田健作

生年月日 / 昭和52年2月26日<O型>

出身 / 奈良県五條市

最終学歴 / 関西大学法学部

入門 / 平成14年5月、桂雀三郎に入門

初舞台 / 平成14年、「雀三郎みなみ亭（トリイホール）」

受賞 / 平成28年、「NHK新人落語大賞」大賞。  
平成29年、「咲くやこの花賞（大阪市）」  
平成30年、「第13回繁昌亭大賞」奨励賞。  
平成30年、「花形演芸大賞」銀賞  
令和元年、「第5回上方落語若手噺家グランプリ2019」優勝  
令和元年、「第74回文化庁芸術祭」新人賞

受嘱 / 平成29年「五條市観光大使」

弟子 / 源太。

番組 / ネットラジオ「ネットでじゃくつたれ」

資格 / 宅地建物取引主任者。行政書士。

芸歴 / 天満天神繁昌亭・神戸新開地/喜楽館・動楽亭をはじめとした寄席以外でも、カフェ・ライブハウスなど様々な場所で落語会を開催。  
毎回満席の盛況をみせる「桂雀太ひとり会」を、平成18年から年1回開催するなど、その地道な努力が「NHK新人落語大賞」で見事大輪の花を咲かせました。  
スケールの大きな語り口は同世代の中でも群を抜き、次世代の爆笑落語の担い手として高い評価を得ています。

# 旭 堂 南 龍

(きょく どう なん りゅう)

本 名 / 長 野 和 幸

生年月日 / 昭和 5 5 年 6 月 4 日 (A型)

出 身 / 大阪府東大阪市

最終学歴 / 近畿大学文芸学部

入 門 / 平成 1 6 年. 旭堂南左衛門に入門  
令和 4 年. 独 立

受 賞 / 令和元年. 「咲 く や こ の 花 賞」 (大阪市)  
令和 3 年. 「八 尾 市 文 化 新 人 賞」  
令和 3 年. 「第 7 6 回文化庁芸術祭賞」 新人賞

受 嘱 / 平成 3 0 年 6 月 「奈良市観光大使」

家 紋 / 丸に覗き梅

芸 歴 / 卒業後、入門。

学生時代は落語講談研究部で活躍。

さわやかな語り口は上方講談界に新風を吹き込んでいます。

平成 2 0 年にはNHK 「ドキュメント挑戦」にて<旭堂南青・武者修行の会>が取り上げられました。

平成 2 6 年 4 月より東大阪市立繩手南中学校において、日本初の講談師アドバイザースタッフとして参加、「国語」「社会」の授業において、日本人として身につけなければならない礼節・教養を、講談を題材にして分かり易く伝える為に教壇に立っています。

また自身の講談会も多数開催しており、近年では東京にも進出を果たして関係各位から高い評価を得た成果により、2 0 1 8 年 1 1 月上方では久しぶりの真打に昇進し、また大名跡である旭堂南龍をも襲名致しました。

上方講談界期待の逸材です。



# 真山隼人 (まやま はやと)

生年月日／ 1995年3月10日

出身／ 三重県鈴鹿市

2010年 5月、二代目真山一郎に入門

2011年10月、一心寺門前浪曲寄席にて初舞台

2012年 5月、国立文楽劇場「浪曲錬声会」初出演

2013年 5月、第12回三重県文化賞新人賞受賞

2014年 8月、鈴鹿市の観光大使に就任

同 年11月、NHK 東西浪曲大会初出演

2015年11月、真山誠太郎門下へ移籍

2016年、 真山一門で31年ぶりに三味線浪曲を復活させる

2018年、 第73回文化庁芸術祭新人賞受賞

2020年、 コロナ禍を打破するお手製浪曲CDを発売したところヒットする

2022年、 咲くやこの花賞（大阪市主催）受賞

## 「主な演目」

「名刀稲荷丸」「大石東下り」「俵屋玄蕃」「南部坂雪の別れ」「徂徠豆腐」

「西村権四郎」「亀甲縞」「円山応挙」「水戸黄門（全五作）」「寛永三馬術」「慶安太平記」

「雨月物語」「山月記」他、135席

## 過去の出演番組（テレビ）

「NHK東西浪曲特選」（NHK）

「he世界仰天ニュース」（日本テレビ）

「カラオケバトル」（テレビ東京）

## 沢村(さわむら) さくら <浪曲曲師>

2000年 3月 沢村豊子に入門

2000年11月 浅草木馬亭にて初舞台

2005年 大阪へ移住

2006年10月 一心寺門前浪曲寄席にて大阪初舞台

2015年 曲師にスポットをあてた「曲師の会」を主催  
<大阪だけではなく、東京、京都、名古屋でも開催し、年に3～4回の  
ペースで開催中>

2016年1月 「沢村豊子・さくら曲師の親子会」を大丸心齋橋劇場（大阪）で開催

2016年2月 「沢村豊子・さくら曲師の親子会」を浅草木馬亭（東京）で開催

2016年12月 高槻現代劇場主催公演「沢村さくらの世界」

2017年 「小林正明写真展～日日是浪曲・曲師さくらの世界～」が、  
東京・大阪・名古屋のキャノンギャラリーにて開催

2018年12月から「浪曲三味線ワークショップ」を現在まで主宰中

2020年には「沢村さくらの浪曲三味線教材DVD」を販売

2021年「第十八回・上方の舞台裏方大賞」を受賞

2021年「令和二年度・大阪文化祭奨励賞」を受賞



# 伝統の 話芸

落語・講談・浪曲の世界

落語と講談と浪曲は

「法話」から

生まれた話芸。

落語家

桂 雀太

落語は最後に才子を  
入れて話す芸能

講談師

旭堂 南龍

講談は七五調で  
リズムカルに読む芸能

浪曲師

真山 隼人

浪曲は三味線の伴奏にのせて  
語りうたう芸能







らくご か かつら じゃく た  
落語家 桂 雀 太

スケールの大きな語り口で繰り出す爆笑落語は他の追随を許さず、「第74回文化庁芸術祭賞新人賞」の受賞など、落語家として大きく飛躍しています。

どう ぶつ えん  
落語「動物園」

ある男が移動動物園のトラに成り済ます仕事を引き受ける。仕事の内容はトラの毛皮を着て檻の中をウロウロするだけ。楽な仕事だと来園する人々を気楽に眺めていると……。

だい しょ  
落語「代書」

就職をするので履歴書を書いてもらおうと代書屋に行った男と、その代書屋と間で繰り広げられる頓珍漢なやり取りは捧腹絶倒、さて最後に代書屋が取った行動とは…。



こうだん し きょく どう なん りゅう  
講談師 旭堂南龍

講談界の大名跡「南龍」を襲名した実力派です。また講談師アドバイザリースタッフとして、日本で唯一公立中学校で授業を受け持つ稀有な存在です。

いっきゅうぜん じ ちや わん かん げん  
講談「一休禅師・茶碗の諫言」

頓智頓才の名人「一休」の噂を耳にした将軍が一休を試そうとするが見事に切り返す。感服した将軍は秘蔵の茶碗で茶会を催すが、小坊主がその茶碗を割ってしまいます。

じん ご ろう かに  
講談「甚五郎の蟹」

子供が餅を盗もうとし、それを主人が捕まえ大騒動、そこに甚五郎が止めに入り、話を聞くと不憫に思い餅を食べさせ、代金の代わりに小さな蟹を彫って置いて行くが…。



ろうきょく し ま やま はや と  
浪曲師 真山隼人

平成30年(第73回)文化庁芸術祭新人賞を受賞。これまでの受賞歴が物語る優れた才能は、正統派の浪曲師として次代を担う逸材と期待されています。

まる やま おう きょ ゆうれい ず  
浪曲「円山応挙の幽霊図」

応挙が関白公より幽霊の絵を頼まれた。仕上がれば日本一の称号だが、まだ幽霊画を描いたことがない応挙が苦心の末に立派な絵をしたため、その一枚の絵が結ぶ親子の物語。

そ らい どう ぶ  
浪曲「徂徠豆腐」

豆腐屋を営んでいる七兵衛は一人の浪人から豆腐を頼まれる。五日間ツケで豆腐を食べ続けた浪人に話を聞くと感動してしまう。豆腐屋と浪人、互いに互いが助け合う友情の物語。